

[ご近所パワー活用術を学ぶ20170115](#)

[ご近所パワー活用術を学ぶ](#)

平成29年1月15日に三島市光ヶ丘地区の住民向けに、住民参加型生活支援サービス普及セミナー・養成講座が光ヶ丘県営団地集会所に於いて開催されました。

3回目となる今回は見守りや居場所、買い物・家事・外出支援等生活支援サービスを立ち上げ、21年の実績を持つボランティアグループ「すずの会」(神奈川県川崎市)代表の鈴木恵子氏(写真左)を講師に招き「気になる人を真ん中に～ご近所パワー活用術～」と題して(写真右)講演が行われました。



[ご近所パワー活用術を学ぶ](#)

講演開始の前に、主催者の三島市北上地区地域包括支援センター、三島市社会福祉協議会、静岡県社会福祉協議会と活動報告をするシニアクラブ白光会会長、光ヶ丘一丁目町内会自治会長、静岡英和学院大学の学生、そして今日の講師である鈴木恵子氏を交えて打ち合わせが行われました(写真)。

本養成講座は赤い羽根共同募金助成事業として行われています。



[ご近所パワー活用術を学ぶ](#)

シニアクラブ白光会の山本賢臣会長より活動報告が行われました。白光会は『健康・友愛・奉仕』をスローガンに

第1に「高齢者の健康と心豊かな生活」

第2に「高齢者同士の助け合い」

第3に「安心・安全な地域社会」を目指す活動方針のもとに、平成28年度の活動が紹介されました。

また、シニアクラブ静岡県の会員加入促進プラン～プラスふじさん(223)作戦～平成30年度までに、

22,300人会員加入促進計画が紹介されました。



[ご近所パワー活用術を学ぶ](#)

光ヶ丘一丁目自治会長の湯川慎吾さんからは町内会からの生活支援サービスの取組について話が有り、「困りごと」アンケート調査を行い、「困りごと」解決隊が組織されたことが紹介されました。



[ご近所パワー活用術を学ぶ](#)



[ご近所パワー活用術を学ぶ](#)

光ヶ丘在住二人の活動報告の後に、本日のテーマ「気になる人を真ん中に」～ご近所パワー活用術～が始まりました。

「すずの会」代表の鈴木恵子氏がパワーポイントを使い設立当時から現在に至るまでの活動が紹介されました(写真左右)。

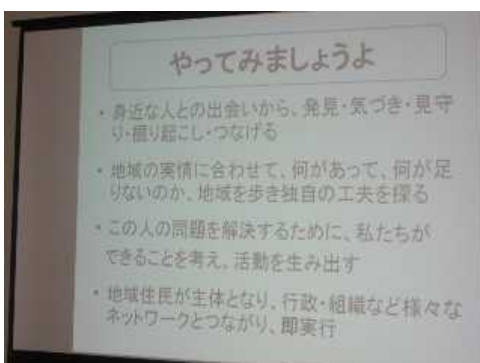
発表された活動事例をいくつか紹介します。

設立は平成7年9月、設立メンバーは小学校のPTAの仲間5名。鈴木さんの介護経験でちょっと困った時に助けてくれたPTAの友達がいた、仲間がいた、10年間仲間が支えてくれた、この介護経験を地域で活かそうとPTAの仲間の一言がスタートだった。そして次の考え方を基本に活動をスタートした。

・「ちょっと困った時に、気軽に鈴を鳴らして下さい」、すずの会の名前の由来。

- ・制度の手の届かない問題の解決策を活動に
- ・自分達の老後も考えたグループ作り
- ・当事者の困りごとを生活者視点で解決する
- ・身近なつづやきを実践に活かす
- ・身の丈に合った実践の積み重ね

活動してきた事例を中心に紹介されました。発足して21年、平成28年4月には活動メンバーは73名と増えた。そして活動の幅は広がっていった。



[ご近所パワー活用術を学ぶ](#)

実際に活動している人の生の声は説得力を感じます。実績を積んだ、一つ一つの言葉に重みを感じました。

「やってみましょうよ」の内容を紹介します。

- ・身近な人との出会いから、発見・気づき・見守り・掘り起こし・つなげる
- ・地域の実情に合わせて、何があって、何が足りないのか、地域を歩き独自の工夫を探る
- ・この人の問題を解決するために、私たちができることを考え、活動を生み出す
- ・地域住民が主体となり、行政・組織など様々なネットワークとつながり、即実行

「やってみましょうよ」の活動は、「現地、現物、現人」現場で起きていることを、現場で出来る対応、その人の状況に合わせて対応して、問題を解決する。そのノウハウは次の活動に反映されていった。

- ・集いの場、ミニデイ
- ・ご近所サークル「ダイヤモンドクラブ」
- ・空家活用「すずの家」
- ・地域ネットワーク「野川セブン」
- ・介護者サポート(スポットヘルプ・介護相談・コーディネート)
- ・情報提供(介護情報誌『タッチ』発行)
- ・公園体操(8ヶ所)
- ・特養内地開放型「喫茶マロニエ」(毎月1回)
- ・地域マップ・すず研

以上が紹介された活動の広がりです。活動写真にエピソード添えて分かり易く紹介された。

地域ネットワーク・野川セブンは自主活動団体・民生委員・地区社協・自治会・地域包括・行政・施設・ケアマネ・医療等34団体が参加する規模だと紹介。連携・情報共有をすずの会がまとめ役をつとめる。ライフプランからケアプラン、フットワークは軽く。「言うは易し、行つが難し」、と思われることが、「得意を活かす、無理しない。実践の積み重ね」の方針で継続している。長年の経験が解決へと結びついていると受け取りました。

課題についても

- ・気になる人の増加
- ・独居・認知症・孤立
- ・家族力の低下
- ・ボランティアの高齢化

等(課題の中を抜粋)を話して講演が終了しました。

充実した活動内容の紹介に多くの印象的な言葉や学ぶ取り組み、手法がありました。ここでは講演内容の抜粋しか紹介できませんでした。機会があれば、聴講されることをお勧めします。

最後に『さりげなく見守るご近所、少しの気配りが安心』との言葉にも共感しました。



[ご近所パワー活用術を学ぶ](#)



[IMG 7888](#)

鈴木恵子氏の講演の後に主催者からの挨拶がありました。三島市社会福祉協議会の野口氏(写真左)、三島市北上地区地域包括支援センターの細谷氏(写真右)。



[ご近所パワー活用術を学ぶ](#)

静岡県社会福祉協議会村松氏(写真)。主催者の皆さん住民参加型生活支援サービス普及セミナー・養成講座の企画、ご苦労様でした。避けて通れないテーマですので少しでも多くの皆さんが関心を持つことを期待しております。

取材；東部田方地区生きがい特派員      加藤   孝